

ふむ	サブエントリ番号- #01	
表記		踏 (ふ) む, 履 (ふ) む
分類		最重要動詞 2 5 7
意味情報	意味記述	足で上から力を加える。
	上位語	加圧する
	類義語	踏み付ける、踏ん付ける
	<国分>分類名称:分類番号	足の動作 : 2. 3 3 9 2
	<角川>分類名称:分類番号	足の動作 : 3 0 6
	意味分類	動作 (動き) , 加力
形態情報	活用	五段
	語幹	h u m
	自他の区別	他
	派生可能	ふめる
	派生使役	ふます
	転成動詞	ふまえる
	転成その他	-ふみ (麦ふみ) , -ぶみ (足ぶみ) , ふみ- (ふみ板)
統語情報	文型	N 1ガ N 2ヲ (N 3デ)
	述語素	O 2 a , I N , (P A g d) , A
	格形式1[意味素性1]名詞句1	N 1ガ [H U M] 彼
	格形式2[意味素性2]名詞句2	N 2ヲ [C O N] 麦、ぶどう、ペダル、土、他人の足、釘、落ち葉、ガム
	格形式3[意味素性3]名詞句3	N 3デ* [P A R / P R O] 足、踵／靴
	文例 1	彼は 力強く ペダルを 踏んだ。
	文例 2	電車の中で 足を 踏まれた。
ヴォイス	サセ形(態1)	二使役
	ラレ形(態2)	直受, 間受, 尊敬
	直受[能動文での格];[能動文の主語の受動文での格]	ヲ;ニ, ニヨッテ
	タイプ	能動
テンス・アスペクト	ル形	未来
	テイル形	進行
	その他の形式	テシマウ, カケル, ハジメル, ダス, ツツケル, オワル
ムード	命令形	命令
	意志形	意志・勧誘
	その他の形式	タイ・タガル, ナサイ, ナ (禁止)
	タイプ	3 a
	マスナイ	マス, ナイ
慣用		薄氷を〜思い。じだんだを〜。二の足を〜。たたらを〜。韻を〜。〜だり蹴ったり。
備考 2		普通は意志的だが、N 2 が「くぎ、落ち葉」の時には無意志的にとれる。

ふむ	サブエントリ番号- #02	

表記		踏 (ふ) む, 履 (ふ) む
分類		最重要動詞 2 5 7
意味情報	意味記述	ある所に実際に行く。
	類義語	経験する
	<国分>分類名称:分類番号	(行為) : (2. 3 4 2)
	<角川>分類名称:分類番号	経験 : 4 2 7 a
形態情報	意味分類	動作 (動き), (状態) 変化, 移動 (位置変化)
	活用	五段
	語幹	h u m
	自他の区別	他
	派生可能	ふめる
	派生使役	ふます
	転成動詞	ふまえる
統語情報	文型	N 1ガ N 2ヲ
	述語素	O 2, A
	格形式1[意味素性1]名詞句1	N 1ガ [H U M / O R G] 彼 / 訪問団
	格形式2[意味素性2]名詞句2	N 2ヲ [L O C] 敵地、外国の地、故郷の地、故郷の土
	文例 1	彼は 久し振りに 故郷の土を 踏んだ。
ヴォイス	サセ形(態1)	二使役
	ラレ形(態2)	間受, 尊敬
	タイプ	中動
テンス・アスペクト	ル形	未来
	テイル形	経験・完了
	その他の形式	テシマウ, カケル
ムード	命令形	命令
	意志形	意志・勧誘
	その他の形式	タイ・タガル, ナサイ, ナ (禁止)
	タイプ	3 b
	マスナイ	マス, ナイ
慣用		場数を～。二の舞を～。(※…の) 撒を～。…の位を～ (=位につく)。初舞台を～。
備考 2		N 2 には「～の土、地」などの形が多い。

ふむ	サブエントリ番号- #03	
表記		踏 (ふ) む, 履 (ふ) む
分類		最重要動詞 2 5 7
意味情報	意味記述	通常の辿るべき筋道や段階を経る。
	類義語	経る
	<国分>分類名称:分類番号	(移動・発着) : (2. 1 5 2 1)
	<角川>分類名称:分類番号	経験 : 4 2 7 a

	意味分類	動作（動き）,（状態）変化, 移動（位置変化）
形態情報	活用	五段
	語幹	h u m
	自他の区別	他
	派生可能	ふめる
	派生使役	ふます
	転成動詞	ふまえる
統語情報	文型	N 1ガ N 2ヲ
	述語素	O 2, A
	格形式1[意味素性1]名詞句1	N 1ガ [H U M / O R G] 彼 / 委員会
	格形式2[意味素性2]名詞句2	N 2ヲ [A B S] 手続き、手順、課程、過程、正科、正道
	文例 1	市民団体は 市長のリコールのための手続きを 踏んだ。
ヴォイス	サセ形(態1)	二使役
	ラレ形(態2)	直受, 間受, 尊敬
	直受[能動文での格];[能動文の主語の受動文での格]	ヲ; ニヨッテ
	タイプ	能動
テンス・アスペクト	ル形	未来
	テイル形	経験・完了
	その他の形式	テアル, テシマウ, カケル
ムード	命令形	命令
	意志形	意志・勧誘
	その他の形式	タイ・タガル, ナサイ, ナ（禁止）
	タイプ	3 b
	マスナイ	マス, ナイ

ふむ	サブエントリ番号- #04	
表記		踏（ふ）む, 履（ふ）む
分類		最重要動詞 2 5 7
意味情報	意味記述	何かに対して、ある評価や判断をする。
	上位語	判断する
	<国分>分類名称:分類番号	（推測・判断）：（2．3 0 6 3）
	<角川>分類名称:分類番号	（判断）：（4 1 2）
	意味分類	動作（動き）, 知覚・思考
形態情報	活用	五段
	語幹	h u m
	自他の区別	他
	派生使役	ふます
	転成その他	値ぶみ
統語情報	文型	N 1ガ （N 2ヲ） Sト

	述語素	CTs, O2, A
	格形式1[意味素性1]名詞句1	N1ガ [HUM / ORG] 彼 / 政府
	格形式2[意味素性2]名詞句2	N2ヲ* [ABS] 値段、価値、可能性、実行
	格形式3[意味素性3]名詞句3	スト [---] 一万円だ、無理だ、駄目だ、不可能だ、状況が変わるだろう
	文例 1	彼は 実行は 到底不可能と 踏んだ。
	文例 2	彼は その古本の値段を 五万円と 踏んだ。
ヴォイス	サセ形(態1)	二使役
	ラレ形(態2)	直受, 間受, 尊敬
	直受[能動文での格];[能動文の主語の受動文での格]タイプ	ヲ;ニ, ニヨッテ 能動
テンス・アスペクト	ル形	未来
	テイル形	進行
	その他の形式	テアル, テシマウ, カケル, ハジメル, ダス
ムード	命令形	×
	意志形	推量
	その他の形式	×
	タイプ	1
	マスナイ	マス
備考 2		Sの主語が現れない時は、N2と同じと解釈される。
